

# ヨコハマ市民まち普請事業

## 第1次整備提案書

### ※ 記入上の注意

- ①3号様式はページを増やさず、必ず2ページ以内でまとめてください。
- ②3号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。
- ③位置図及び現況写真以外に、整備提案のイメージ図などの資料をA4判2ページまで添付することができます。その際、資料の両側に15mm以上余白を確保してください。

整備提案名 (25字以内)	平安町 災害・福祉地域交流センター
提案グループ名 (25字以内)	平安町 災害・福祉地域交流センター建設委員会
グループの現在の主な活動内容及び <u>最近5年以内</u> の活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設委員会の中核である平安町町会は、約3000世帯を抱える市内でも屈指の大規模町内会である。JICAの研修受け入れや防災訓練、横浜市の災害時要援護者のモデル地区、小中学校の支援活動など、防災・福祉・教育において先進的な活動を行っている。</li> <li>・平成26年の総会で決議し、平成28年7月に平安町会館の隣にセンターの用地47坪（155㎡）を購入した。29年総会、建設可決！</li> </ul>
整備場所の所在地 (町名又は丁目まで記入)	横浜市鶴見区 平安町1丁目 ※位置図及び現況写真（各A4判1ページ）を添付してください。
整備提案の内容 (どのような整備を提案するのか <u>文章</u> で記入してください)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2階建て、延床面積約50坪（165㎡）、エレベーター付きの災害・福祉地域交流センターを取得した用地に30年度に新築する計画。</li> <li>・1階は約25坪（82㎡）とし、平時は各種グループの拠点となる福祉・コミュニティ活動のセンターとする。また、150人程度が入れる集会機能も持たせる。災害時は災害ボランティアセンター・特別避難所のサテライトとして活用する。また情報の収集と発信も担うことができる。そのための発電等の設備を備える。</li> <li>・2階は約25坪（82㎡）とし、防災倉庫と小集会場所とする。平安町は浸水被害1～1.5mが想定されているため、現在は平安町会館の地下と公園のプレハブに備蓄している物資を移動させる。災害時は、要介護者の一時避難所や外部災害ボランティアの宿泊場所とする。</li> <li>・建設費は約4000万円で、2500万は積立金、500万円はまち普請、1000万円は募金および借入金で賄う。まち普請では、平常時の障害者団体・幼児教室専用スペースの安全と安心を確保するためを他団体とかけ合わない二階とするため、エレベーター、多目的トイレ、カウンターキッチン、図書棚、備蓄収納庫等を整備する。</li> </ul> <p><b>整備費用の概算額：約500万円</b>※添付資料として整備提案のイメージ図を添付することができます。（記入上の注意③）</p>

<p>整備提案の動機や背景 (整備に対する地域のニーズや整備によって解決したい地域の課題、整備の必要性などに触れながら箇条書きで記入してください)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平安町は鶴見川に接しており浸水被害が想定されているため、浸水の被害が起りにくい2階部分に防災倉庫をつくりたいということがそもそもの動機である。平常時の気軽に集えるフリースペースとともに平成29年3月のアンケート結果でも多数の希望があった。</li> <li>・また、町会が大きく、災害時要援護者が300人以上想定されるため、一時避難場所となる機能が必要と考えている。</li> <li>・現在の活動から障害者グループの安心と幼児グループ活動での幼児の飛び出しの危険のない安全な専用スペースが2階に取る事が出来る。</li> </ul>
<p>整備の効果 (整備したい施設がどのような人たちに利用され、地域にどのように貢献すると考えますか?)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の備蓄品やサテライト機能は地域住民の不安を軽減することができるとともに研修会等、新たな防災意識の高揚を図る場となる。</li> <li>・既存の会館はスペースが狭く、利用グループを増やすことが難しい、当センター建設により、新たなグループが利用できたり、立ち上がりして、担い手と共助の層を厚くすることが期待できる。</li> <li>・備蓄収納庫・エレベーター・多機能トイレ・カウンターキッチン・図書棚等の整備により新たな利用方法が開けるものと期待している。</li> </ul>
<p>整備した施設の維持管理・運営 (整備した施設の維持管理や運営に、提案グループや地域住民等がどのように関わっていきますか?)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・維持管理や運営は、当センター建設委員会を発展させた(仮称)平安町 災害・福祉地域交流センター運営委員会が行う予定である。利用者団体・個人を取り込み、担い手の確保と広がり推進していきたい。</li> <li>・地域福祉ボランティアセンターとしての新たな担い手、ボランティアの育成機能を持たせる。</li> </ul>
<p>○提案内容におけるアイデアやユニークさ ○提案を実現するために活用する地域の資源注4) ○その他提案について特にPRしたい点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既に町会として平常時から顔の見える関係づくりを行っているが、平安町災害・福祉交流センター建設委員会の発足を契機として、連携の輪をより広げ、強化していく。活用提案から運営まで多様な団体の関りを促進していく。・平成29年3月にアンケートを実施している。</li> <li>・設計は地域でボランティア的にやってくれる人がいる。施工は広く入札する予定。・平常時には多機能型の福祉保健計画遂行の拠点として、災害時には救援拠点としての利用の二面性を兼ね備えている。</li> </ul>

注4)「地域の資源」とは、次のようなものを想定しています。

- |         |                         |                       |
|---------|-------------------------|-----------------------|
| ○「ヒト」の例 | ・地域のPTAから協力を受けられそう。     | ・地域に設計の専門家がいる。        |
| ○「モノ」の例 | ・整備に必要な材料を安く入手できそう。     | ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。 |
| ○「カネ」の例 | ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 | ・バザーなどで資金を集められそう。     |

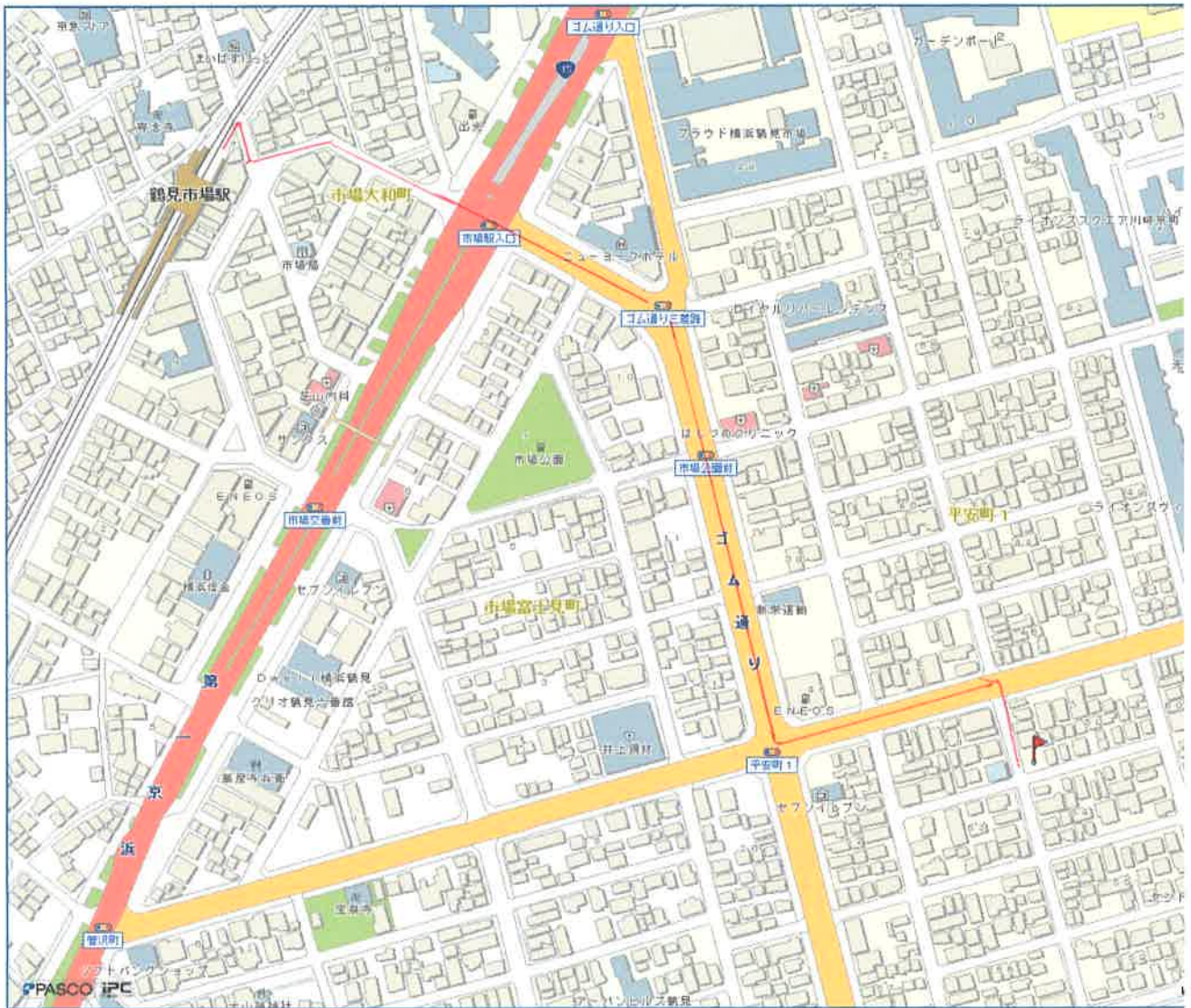
整備場所の地権者等注5)への提案内容及びコンテストに応募することについての説明状況	
説明の相手方	相手方の意見等
平安町会員	平成29年度定期総会にてまち普請申請とセンターの建設及び資金調達の計画合意を得た

注5) 土地・建物を所有している、借りている、又は実質的に使用権利を持つ者(会社や行政機関も含む)

記載内容について、次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません

案内図





平安町防災福祉センター（仮称） 建設地（平安町一丁目）



平安町会館前 南西より



北東より平安町会館を望む



南側より建設地



# 平安町防災福祉センター（仮）1階 利用予想図

100円カレー

こども食堂

カウンターキッチン・カフェ

オープンカフェ

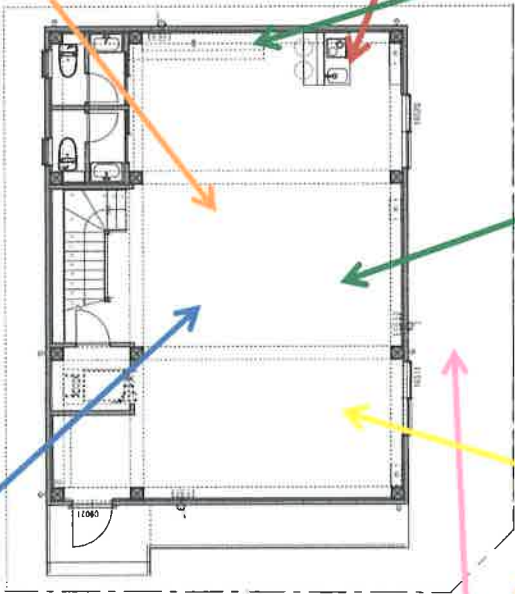
子供から高齢者まで

定期的な会食会

カラオケ

健康体操教室

フォークダンス教室



図書コーナー

趣味

だいぶ上手になったね！

男の教室

趣味を作ろう

災害時のベット

“オープンテラス”

天気の良い日は外で





# 平安町防災福祉センター（仮）2階 利用予想図

リハビリ教室

予防教室

障害者と一緒に、ゆっくり寛ぎの場

国際交流自主活動

幼児・保育・ふれあい

親子体操教室

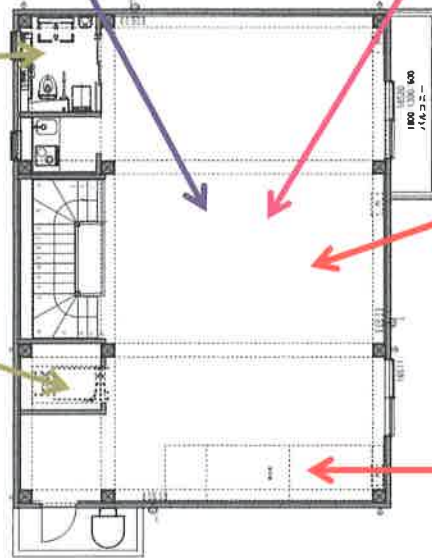
フリーふらっとルーム

多目的トイレ

TOILET

エレベーター

安心して参加できます。



災害時シュラフ

スリーピングバッグ

## 緊急時防災備蓄品



ダンボールによるパーティション



テント



プライバシー保護



ダンボール

プライバシー保護 ベット・椅子等に使える。



無線設備



備蓄倉庫